



第59号

(昭和39年10月)

目次

関係法令.....1

学内規則

  富山大学学則の一部改正.....1

  富山大学附属図書館資料管理事務取扱規程細則の一部改正.....2

諸会議.....2

人事異動.....2

学内諸報

  開学15周年記念行事特集

    記念行事の概要.....3

    記念式典.....3

    記念式告辞.....3

    特別功労者表彰.....4

    永年勤続者表彰.....4

    大学歌歌詞発表.....5

    記念講演会.....5

    記念音楽会.....5

    フォークダンスの会.....5

    マラソン大会等.....6

    職員作品展.....6

    15年史の刊行等.....6

  富山大学15年史の刊行と経過(寄稿).....6

主要日誌.....7

関係法令

政令

- 第322号 社会保障研究所法第12条第2号の教育公務員の範囲を定める政令 39.10.1
- 第333号 予算決算及び会計令等の一部を改正する政令 39.10.12

省令

- 大蔵68号 国家公務員共済組合法施行規則の一部を改正する省令 39.10.1
- 文部28号 日本育英会が行なう貸与金回収業務の方法に関する省令 39.10.1

官庁報告

人事院 昭和39年度国家公務員採用東海・北陸地方初級試験第1次試験合格者 39.10.17

学内規則

富山大学学則の一部改正

富山大学学則の一部を改正する規則を次のように制定する。

昭和39年10月23日

富山大学長 横田嘉右衛門

富山大学学則の一部を改正する規則

富山大学学則(昭和25年1月20日制定)の一部を次のように改正する。

第5条及び第50条中「初等教育科」を「小学校教員養成課程」に、「中等教育科」を「中学校教員養成課程」に改める。

第7条を次のように改める。

第7条 学部または学科には、別表第1のとおり講座もしくはは学科目をおく。

別表第1を次のように改める。

別表第1

学部	学科等	講座又は学科目
文理学部	文学科	哲学, 哲学史, 国史学, 東洋史学, 西洋史学, 国語学, 国文学, 英語学, 英文学, ドイツ語学, ドイツ文学
	理学科	代数学及び幾何学, 解析学及び応用解析学, 固体物理学, 量子物理学, 物質構造学, 物理化学, 有機及び生物化学, 無機及び分析化学, 動物形態学, 動物生理学, 植物生理及び形態学, 地学
教育学部	小学校教員養成課程・中学校教員養成課程	国語学, 国文学, 書道, 歴史学, 地理学, 法律学, 経済学, 代数学及び幾何学, 解析学及び応用数学, 物理学, 化学, 生物学, 地学, 音楽, 器楽, 作曲, 絵画, 彫塑, 構成, 美術理論, 美術史, 体育実技, 生理学及び衛生学, 学校保健, 体育理論, 体育史, 木材加工, 電気, 機械, 食物学, 被服学, 家庭管理, 農業, 英語学, 英米文学, 教育学, 教育史, 教育制度, 教育社会学, 教育心理学, 発達心理学
経済学部	経済学科	経済学, 経済史, 経済政策, 財政金融論, 統計学, 経済地理学, 経営学, 商学, 簿記学, 会计学, 憲法, 民法, 商法, 社会学
薬学部	薬学科	薬化学, 薬品分析化学, 生薬学, 薬品物理化学, 薬品合成化学, 衛生化学, 薬剤学, 薬剤製造学, 薬品生物化学, 薬品作用学

工 学 部	電気工学科	電気理論, 電気機器, 電力工学, 電気通信, 自動制御
	工業化学科	有機工業化学, 有機合成化学, 無機工業化学, 工業物理化学, 単位操作, プロセス制御
	金属工学科	金属材料学, 金属加工学, 鉄冶金学, 非鉄冶金学
	機械工学科	材料力学, 機械力学, 流体工学, 熱工学, 動力熱工学
	生産機械工学科	切削加工, 工業計測

別表第 2 を次のように改める。

**別表第 2**

科目・系列		授 業 科 目
一般教育科目	人文科学系	哲学, 倫理学, 心理学, 歴史学, 文学, 音楽, 美術
	社会科学系	法学, 経済学, 統計学, 政治学, 地理学, 社会学
	自然科学系	数学, 物理学, 化学, 生物学, 地学
外国語科目		英語, ドイツ語, フランス語, ラテン語
保健体育科目		保健体育 (講義・実技)

**附 則**

この学則 (改正) は, 昭和39年10月23日から実施し, 昭和39年 4 月 1 日から適用する。

(学則改正の理由: 国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する省令の制定による。)

**富山大学附属図書館資料管理  
事務取扱規程細則の一部改正**

富山大学附属図書館資料管理事務取扱規程細則の一部を改正する規程を次のように制定する。

昭和39年10月30日

富山大学長 横田嘉右衛門

富山大学附属図書館資料管理事務取扱規程細則の一部を改正する規程

富山大学附属図書館資料管理事務取扱規程細則 (昭和35

年 4 月 22 日 制定) の一部を次のように改正する。  
題名を次のように改める。

富山大学図書館資料管理事務取扱規程

第 1 条, 第 2 条第 1 項及び附則第 1 項中「この細則」を「この規程」に改める。

第 12 条中「本学附属図書館閲覧規則」を「富山大学附属図書館閲覧規則」に改める。

別表中, 物品供用官に関する表を次のように改める。

2 物品供用官

物品供用官とする官職	委任する事務の範囲
整 理 係 長	本館に所属する資料 (薬学専門図書室に配置するものを除く。) の供用に関する事務
薬学専門図書室事務主任	薬学専門図書室に配置された資料の供用に関する事務
工学部分館事務主任	工学部分館に所属する資料の供用に関する事務

**附 則**

この規程は, 昭和39年10月30日から実施し, 昭和39年 6 月 1 日から適用する。

(改正の理由: 富山大学附属図書館規則の制定に伴う別表の一部改正及び規程用語の補正)

**諸 会 議**

**第10回 評 議 会 (10月23日)**

(議題)

- 富山大学学則の一部を改正する規則 (案) について
- 開学15周年記念行事 (大学歌選考結果を含む) について
- 昭和40年度学生募集要項, 大学案内について
- 入学者選考学力検査問題作成委員について
- 転学部, 転学科について
- 卒業認定について
- 学士入学について
- 昭和40年度大学院薬学研究科入学試験合格者について (報告事項)
  - 学生の懲戒処分について
  - その他

**人 事 異 動**

現 官 職	氏 名	異 動 内 容	発令年月日	発 令 庁
助 教 授 (文 理 学 部)	坂 井 誠 一	教授 (教育学部) に昇任させる。	39.10. 1	文 部 省
事 務 官 (薬 学 部)	佐 伯 光 雄	庶務課に配置換する。	39.11. 1	富山大学

事務員 (会計課)	五十嵐 靖夫	文理学部に配置換する。	〃	〃
庶務課	羽根 俊	工学部に配置換する。	〃	〃
技能員 (文理学部)	藤井 小三郎	事務員(薬学部)に配置換する。	〃	〃

学 内 諸 報

開学15周年記念行事特集

記念行事の概要

本学は昭和24年5月開学、今年で15周年を迎えたが、その記念行事は10月31日の記念式典を中心に約1週間にわたり、全学を挙げて盛大に行なわれた。

記念行事委員会(委員長・大島文雄教授)企画によるもののほか、職員及び学生団体の協賛行事を含めた行事日程は次のとおり。

行事種目	実施月日	時刻	場 所
記念式典	10.31(土)	10.00~	黒田講堂
祝賀会	〃	式典終了後	本学体育館
講演会	11.1(日)	10.00~	黒田講堂
音楽会	10.24(土)	13.00~	県民会館
フォークダンスの会	10.31(土)	〃	市体育館
マラソン大会	〃	13.30~	大.学~寒江口 (折返し) ※1
職員作品展	10.30(金)~11.5(木)		黒田講堂
茶 会	11.2(月)	12.00~	職員ホール ※2
音楽鑑賞会	11.4(水)	〃	〃

(注) ※1 = 全学学生秋季競技大会の一部として体育会主催  
 ※2 = 職員レクリエーション文化部の主催による

他に本行事の一環として、「富山大学15年史」の刊行。「富山大学歌」の選定、「記念絵はがき(3枚1組)」の頒布等があった。

記 念 式 典

開学15周年記念式典は、10月31日(土)午前10時から黒田講堂において来賓多数を迎え、教職員ならびに学生代表らが参列して行なわれた。

式次第等は次のとおり。

1. 開式の辞
1. 学長式辞
1. 来賓祝辞
1. 在職中死亡された職員に対する黙とう  
 (死亡職員 { 教育系14名  
 事務系16名 )
1. 特別功労者表彰(特別功労者 黒田善太郎氏)

1. 永年勤続者表彰 (35年以上勤続者..... 13名  
 20年以上勤続者..... 4名  
 開学時より勤続者..... 208名)

1. 受賞者代表謝辞
1. 大学歌選定歌詞発表
1. 閉式の辞

なお、記念式典終了後引き続き体育館に会場を移し、祝賀会が催された。

記 念 式 告 辞

富山大学長 横田嘉右衛門

本日ここに本学開学15周年の記念式典を催すにあたり御案内を申しあげましたところ、来賓の皆様には多数御来臨をいただき、誠にありがたく厚く御礼申しあげます。

本学は昭和24年春、学制改革により旧5高専を基盤とする4学部を以て発足し、昭和28年には文理学部内の経済学科が経済学部として独立してこれに加わり5学部となり、さらに昭和34年には夜間の経営短期大学部が併設せられ、なお、昭和37~39年度にわたり、それまでの各学部分散から五福地区集中の大業が行なわれ今日を迎えました。この間の15年を顧りみ、今更のごとく歳月の流れは早く短かく或いはおそく長くとも感じられる次第であります。

新制大学の多聞に洩れず本学もまた発足後しばらくは学制改革の激動により教えるもの教わるものひとしく種々困惑をいたしました。今日学内の人の和とそれになによりありがたいことは地元の皆様の格別の御支援により漸やく軌道にのり一歩一歩堅実な道を踏みしめ進みつつあることで衷心感謝に堪えないところであります。

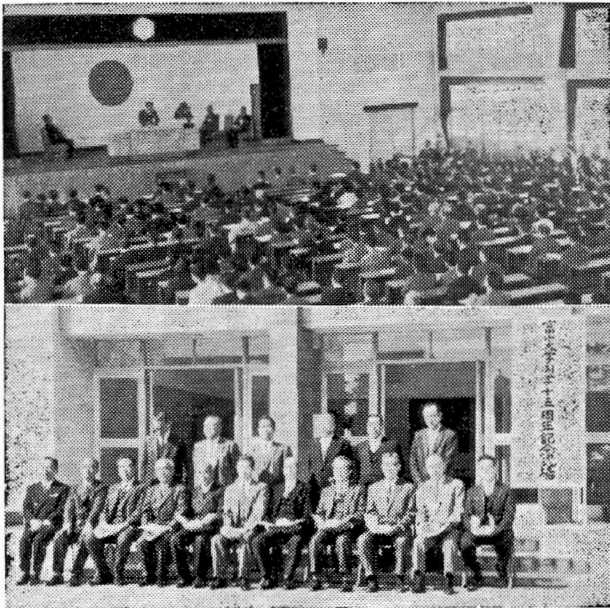
少しく本学の概況を申しあげますと、現教職員総数617名、在学学生生徒児童総数凡そ5,890名に達します。また施設の面においては土地総面積101,800坪、建物総坪数20,300坪、これには本年度中に建設をみる学生統合寮及び学生会館等も包括されています。

この教育研究施設整備の躍進の跡は蓋し全国国立大学の中にあってもまことに出色であり、このことは本省の理解もさることながら、別して発足の当初より本学によせられた富山大学設置期成同盟会その他の恩恵によるもので私共職員にとり何よりありがたい刺戟剤となっているのであります。私共本学に職を奉ずるものは、ここに15周年を迎えるに当り覚悟を新たにして大学教育の本義に則り報恩感謝の微衷を捧げることを誓う次第です。

さて、学内職員の皆さん、本日を迎えるに当たり、皆さんの奉仕に対し改めて心からその労をねぎらい御礼申しあ

げます。式場の関係で全職員のお集りを願うことができず永年勤続の表彰をおうけになる方々に限りましたが、皆さんは実に本学の弾みであり宝であります。どうぞこれまでもまして健康に留意せられ生涯本学の職域を通じて国家に奉仕して頂くと共に御一家の繁栄をお祈りいたします。

終りに臨み来賓各位の御多祥を祈り、今後とも相変りなく本学に対し温かい御援助を賜わりますよう御願ひ申し上げます。



(写真上は、開学15周年記念式場、下は永年勤続受賞者)

**特別功勞者表彰**

記念式典の席上、黒田善太郎氏が本学の特別功勞者として次のとおり表彰された。

感 謝 状

黒 田 善 太 郎 殿

あなたは本学のため、多大の御援助を賜わり、その功績まことに顕著なるものがあります。

ここに本学開学15周年を迎えるにあたり表彰し、感謝の意を表します。

昭和39年10月31日

富山大学長 横 田 嘉 右 衛 門

黒田善太郎氏(コクヨKK会長)は、昭和32年、本学に黒田講堂を寄贈されるなど、本学の発展に著しく寄与され、その功が認められて今度の記念式典におけるただ1名の特別功勞者として表彰されたもの。式典には、氏の3男黒田靖之助氏(コクヨKK専務取締役)が代理出席し、晴れの感謝状および記念品が横田学長から手渡された。

なお、黒田善太郎氏は、さらに富山県からも、11月3日文化の日に郷土における後輩の育成ならびに教育文化の振興につくした業績が認められ、富山県功勞者として表彰された。

**永年勤続者表彰**

本学職員表彰規則による永年勤続者(35年以上及び20年勤続者)の表彰は、本学開学時よりの勤続者の表彰とともに記念式典に併せて行なわれた。

とくに、35年以上の勤続者の表彰は、今回が初めてのため、横田学長以下13名も該当者があり、そのうち40年以上の勤続者が6名も含まれている。

一方、開学時よりの勤続者が、208名と、現職員全体の約3分の1にあたる数を占めていることも注目されよう。被表彰者の部局別氏名は次のとおり。

◎ 35年以上勤続者

横 田 嘉 右 衛 門 (本部)	上 原 定 清 (教育)
大 島 文 雄 (文理)	藤 木 二 与 (〃)
植 木 忠 夫 (〃)	桜 井 謙 之 介 (薬)
守 屋 獅 郎 (〃)	堀 田 吉 太 郎 (工)
桑 田 秋 水 (〃)	城 石 孝 昌 (図)
和 田 徳 一 (教育)	蔵 本 綱 次 郎 (本部)
佐 々 亮 (〃)	

◎ 20年勤続者

高 瀬 重 雄 (文理)	田 中 久 雄 (教育)
近 藤 堅 二 (〃)	菅 原 修 (経済)

◎ 開学時よりの勤続者

【本 部】

横田嘉右衛門	加藤 昭作	藤井 政雄	宮越作次郎
若林 俊吉	田中 昇	山本 昭子	日南田善郎
谷岡 静雄	前島 健治	松原 薫	大坪 力蔵
川島 勇次	野村 善一	水口 妙子	福井作次郎
若林 良吉	安守 数雄	中島 菊枝	吉野 敏邦
高松 平吉	浦田 隆志	森田タミ子	蔵本綱次郎
藤田 信二	柴田富美枝	原 泰熊	柳田由太郎
本田 文治	高杉 正範	津林 繁信	村中 晴治
奥井 三郎	御福富美子	森田 義保	関野竹次郎

【文理学部】

植木 忠夫	桑田 秋水	小森 典	山 淵 保 明
大島 文雄	児島 毅	梅原 隆章	奥野 武則
高瀬 重雄	近藤 堅二	中川 正之	大畑 憲司
島崎 藤一	毛利 勉	杉本 新平	清水タカ子
守屋 獅郎	平田 一郎	中臣 恵暁	前川徳太郎
渡辺 義一	柿岡 時正	六浦 教乗	中島 政次
館 熙道	坂井 誠一	松沢 義治	高井 保雄
岡崎 初雄	永原 茂	酒井 弘	中村富美子

【教育学部】

溝上 茂夫	佐々木竜作	福島 栄七	白井 芳朗
和田 徳一	沢泉 重夫	藤木 二与	立島 謙
佐々 亮	林 勝次	池田 トミ	松為 周從
蜷川 栄作	酒井 康彦	上原 定清	蔵島 茂
玉生 正信	高森 乙松	井上 文武	大場 友次

大滝 直平	田中 久雄	早川 清	北林秀次郎
黒坂 富治	加藤寿美子	新田 文子	中田ふじえ
神保 放牛	大沢 欽治	川井 正信	金岡スミ子
丸山 豊一	泉 敏郎	野村 武一	田嶋 スミ
山淵 利文	見村 てい	高村 文一	松村すえ子
林 三雄	石原 ミキ	島田 秀信	栗林 繁治
深井 三郎	金子 基之	藤堂 一雄	和田 キク
山口 政則	有沢 一男	石戸貞太郎	守田 保盛
一法師頼忠	布村 啓一	藤浪 弘	船見 幸生
頭川 徹治	結城 善之	齊藤 義康	島 正
小沢慎一郎	篁 ハル	中島 国衛	真野 節子
高野 兼吉	長枝 英子	塩谷 孝雄	上野 ひろ
藤木 興三	柳瀬 弥逸	高木 行則	山口 雄啓

## 【経済学部】

植村 元覚	新田 隆信	数見宇佐男	石原幾久栄
石瀬 秀治	有岡 進	扇谷甚右衛門	多村 節子

## 【薬学部】

三橋 監物	山崎 高応	桜井 雅楽	内山 幸吉
桜井謙之介	森田 直賢	民谷 順治	新村 敏郎
倉田 軍一	松本 弘一	藤波佐九郎	川又忠次郎
飯田 武夫	上田 道広	河内 美代	佐藤 供枝

## 【工学部】

長元亀久男	中川 孝之	藤森 清一	中村 理正
上野 亨	高辻 雄三	井波 勝二	石田 文治
村中 利吉	中谷 秀夫	竹岡 環	三上 はり
加藤 正	柳瀬 秋夫	荒屋 克子	坪田 卓
養田 実	神田 睦夫	田中 崇子	笠間 とし
位崎 敏男	堀田吉太郎	中島 澄子	北角 正雄
四谷 平治	高山藤一郎	高辻きみ子	
大井 信一	柳瀬 茂光	長谷川篤郎	
山田 正夫	鎌仲百之介	瀬島勝四郎	

## 【図書館】

那智平八郎	野尻 義男	関場 貞子
永田 佐一	山下 寿和	結城 敏
城石 孝昌	山出 繁	辻沢弥八郎

## 【経営短大】

森田 弘		
------	--	--

## 大学歌選定歌詞発表

学報第54号(5月号)で報じたとおり、開学15周年を記念して、富山大学歌の歌詞を本学教職員、学生及び卒業生などを対象に公募したところ、30件の応募があった。

学生部長を委員長とし、各学部から推せんされた教職員などからなる歌詞選考委員会において慎重に審査の結果、下記のとおり入賞者がさまじり、別稿のとおり入選歌詞は記念式典席上、選考委員長から発表された。

記

富山大学歌歌詞応募入賞者

入選 菊池 靖雄 (文理学部非常勤講師)  
佳作 田村 齊二 (教育学部30年度卒業生)

なお、入選歌詞に対する作曲の公募は、歌詞募集要項に準じて3月末日を期限として行なわれている。

## 富山大学歌 (歌詞)

菊池 靖雄 作詞

(一)	(二)	(三)
太刀山の 巖に立ちて 睥睨す かの神鷲の 怒れる眼 張れる翼 疾風を捲き 空谷にこだまし その翔ぶや 虚空の涯 無限を目指し 無明をひらく	北海の 潮の上に 光耀す この月影の 麗し面輪 笑まふ瞳 中天に澄み 空際にみなぎり その照るや 久遠の光 沈黙をさほめ 思索を深む	高志の野の 央らを占めて 聳え立つ 富山大学 花咲く知性 競ふ科学 客観を知り 典籍にまなびて その往くや 理想の彼方 真理をもとめ 平和をこがる

## 記念講演会

記念講演会は、下記のとおり西脇、木村両教授を講師に招き、学内外から多数の聴講者が参集して行なわれた。

記

とき 11月1日(日) 10.00~12.30

ところ 本学黒田講堂

演題および講師

「詩ということ」 慶応大学名誉教授  
文博 西脇 順三郎 氏  
「和漢菜のはなし」 京都大学薬学部教授  
薬博 木村 康一 氏

## 記念音楽会

記念音楽会は、他の行事に先立ち24日、多数の聴衆を迎えて行なわれた。

記

とき 10月24日(土) 13.00~17.00

ところ 富山県民会館大ホール

出演者 富山大学ロシア民謡合唱団

〃 モダンミュージックソサエティ  
〃 ギター・マンドリンクラブ  
〃 合唱団  
〃 フィルハーモニー管弦楽団

## 記念フォークダンスの会

フォークダンスの会は、体育関係学生団体のうちフォークダンスクラブの協力を得て、下記のとおり開催、職員・

学生と一般市民の交歓がはかられた。

記

と き 10月31日(土) 13.00~17.00

ところ 富山市体育館

**マラソン大会等**

本学体育会主催による全学学生秋季競技大会のうち、マラソン大会などは、下記のとおり15周年記念行事に協賛して行なわれた。

記

▷**マラソン大会** 学内の各クラブ・サークルに所属の学生147名が参加、10月31日(土) 午後2時薬学部前からスタート、大学正門前で国道八号線を西へ、寒江口で折返し、本学黒田講堂前のゴールまで出場者全員が完走した。

〔優勝者〕 陸上競技部・八木秀治(文理1年)

▷**バレー・バスケット大会** 学生団体(クラブ・サークル)対抗のバレーおよびバスケット大会は、10月31日午後1時から本学バレーコートおよび体育館において行なわれ次の各チームが優勝した。

バレー (男) 教育1年チーム

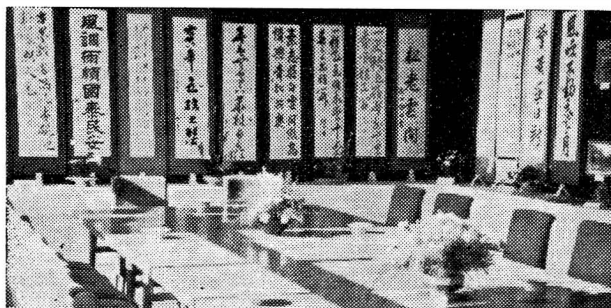
〃 (女) 〃

バスケット(男) 経済3年チーム

〃 (女) 女子バレーボール部

**職員作品展**

本学職員レクリエーション文化部会主催の第1回職員作品展は、15周年記念行事の一環として、10月30日(金)から11月5日(木)まで、黒田講堂の貴賓室を会場に開かれ、横田学長の作品(書道の部)漢詩「炎帝五弦之瑟」をはじめ書道、写真、絵画、手芸、華道の各班からそれぞれ力作が寄せられ、記念行事にいろどりをそえた。



(写真は、第1回職員作品展会場)

一方、茶道班は、11月2日(月)の午後、職員ホールにおいて約100名の同好者が参会して**記念茶会**を開催し、さらに、音楽班も11月4日(水)の午後、職員ホールにおいて約40名の会員らが集まり、記念の**音楽鑑賞会**を催した。なお、作品展の部門別出品者は次のとおり。

【書道】 本部=横田嘉右衛門, 柴田富美枝, 森田義保, 若林良吉, 文理=大島文雄, 高瀬重雄, 教育=齊藤義康, 中島国衛, 工学=中本敏江, 図書=平岩広一

(特別出品=元学生課長鈴木定次郎及び神戸大学職員)

【写真】 本部=黒田信吉, 土井盛治, 平岡幸一, 平野茂良, 宮越一男, 渡辺登美枝, 教育=館盛貞信, 村沢巖, 経済=扇谷甚右衛門, 工=塚島寛

【絵画】 文理=竹内豊三郎, 教育=塩谷孝雄, 塚田健夫, 薬学=井上正美, 木村正康

【手芸】 本部=川田節子, 城川智都子, 御福富美子, 高野直美, 中村良子, 渡辺登美枝, 文理=伊藤三枝子, 教育=小川君子, 田島スミ, 永森寿子, 工学=大坪幸子, 高島睦子, 辻沢征江

【華道】 本部, 文理学部, 教育学部, 薬学部, 工学部, 経済・図書・短大の各グループ単位にて出品

**15年史の刊行**

開学15周年を記念して刊行の「富山大学15年史」は、高瀬教授らの編さん・執筆委員会によって編集なり、10月31日記念式当日上梓、関係者に頒布された。

なお、その刊行経過等については、編さん事務を担当した附属図書館から、別記のとおり原稿が寄せられたので参照願います。

**記念絵はがき**

開学15周年記念の絵はがきは、下記のとおり出版され、記念式当日、職員その他の関係者に頒布された。

記

記念絵はがき

「大学構内」「大学全景」

「文理学部屋上より立山連峰展望」

(以上3枚1組)

(寄稿)

**富山大学15年史の刊行と経過**

こんど開学15周年を記念して富山大学15年史が刊行された。年史としては本学最初のものである。A5版の本装幀で全文318頁、内容は、I~III章が総括編、IV~X章は部局編、末尾が職員記事および関係者の追憶寄稿で結ばれている。巻頭に半扉を挿入し飛雲模様の和紙を用いたことは編さん委員長のささやかな愛情を示したものと見えよう。

あとがきにもあるように短期間の編さんで大変無理があったらしく、その経過は次のとおりである。

昭和39年3月30日の評議会によって15周年記念行事の大

綱が定まり、15年史編さん準備委員会が発足し、浅岡図書館長及び大島、養田両教授が委員に、図書館事務長が幹事となり、附属図書館がその編さん事務を担当することになった。

その後数次の準備委員会を経て5月26日準備委員会の推せんにより学長から次のとおり編さん委員の委嘱があり、高瀬教授を委員長に推して15年史編さん委員会が発足した。

編さん委員等次のとおり。

総括篇担当 高瀬 重雄 (学生部長)

部局篇 〃

文理学部 大島 文雄, 植木 忠夫

教育学部 和田 徳一, 神保 放牛

経済学部 新田 隆信, 柴田 裕

薬学部 森田 直賢, 高林 昇

工学部 長元亀久男, 養田 実

図書館 図書館長, 同 事務長

経営短大 水井 謹作,

回顧録 (別途執筆を依頼=7人程度)

なお、原稿の割当枚数は、総括篇=200枚、部局篇のうち、各学部はそれぞれ60枚、図書館=30枚、経営短大=15枚、回顧録は60枚であった。

編さん委員会では、発刊部数、冊子の形式、原稿の割当執筆の分担、文章の基本形式等を決定し、更に完成時期を奉祝記念日に間に合うようにとの学長の深い希望に副って原稿の締切りは8月15日、印刷廻しを9月上旬とし、10月30日の完成を目途とすることになった。

また、この席で大島・和田・神保の各委員からなる編さん小委員会も設けられた。

かくて、3回の編さん執筆委員会と、6回に及ぶ編さん小委員会を経て10月24日19時、記念日に間に合うためのぎりぎりの線で不充分さに後髪を引かれながらも最後の校正を終えた。

この間、資料は存外に乏しく、その点執筆者は非常に苦労されたようだ。また、殊に執筆者の多い複雑な校正作業を10日あまりの短時日のうちに3校まで終えねばならないはめにおちいり各委員は大変苦労された。このようにして奉祝日に漸く一部が間に合い、残部も印刷の不備を修正してから後日完成配布された。(附属図書館より寄稿)

### 職員家族大運動会

第3回富山大学職員家族大運動会は、10月17日(土)午後1時から本学グラウンドで開催されたが、途中から降雨のため体育館へ会場を移しゲームが進められた。総合成績は次のとおり。

優勝=文理学部, 次勝=工学部, 3位=本部 {事務局  
学生部}

## 主 要 日 誌

### 本 部

- 10月1日 オリンピック聖火リレー本学前通過  
1~8日 国家公務員健康週間  
2日 入学試験管理委員会  
〃 15周年記念式典実行委員会  
〃 北陸地区文部省共済組合事務打合せ会  
5~6日 科学的研究員交付金等状況監査  
5~9日 国立大学幹部職員研修講座(教育会館)  
7日 富山地区官公庁連絡協議会(県市町村会館)  
8~9日 東海北陸地区国立大学学生部課長会議(岐阜)  
11日 富山地区R連盟釣大会(新湊・堀岡付近)  
13日 大学入試実施要項趣旨徹底協議会(京都学芸大)  
14日 富山地区R連盟運営委員会(富山営林署)  
17日 職員家族大運動会  
19~20日 富山共済組合支部ソフトボール大会  
20~21日 北陸3大学学生野球大会(県営球場)  
23日 評議会(第10回)  
〃 入学試験管理委員会  
24日 15周年記念音楽会(県民会館)  
25日 北信越学生空手道大会(本学体育館)  
26~27日 R連盟ソフトボール大会(不二越グラウンド)  
〃 国立大学学生館運営協議会(鹿児島大)  
27日 事務協議会(第6回)  
〃 大学歌歌詞選考委員会  
29~30日 東海北陸地区国立大学会計部課長会議(富山県民会館)  
30日 授業料減免選考委員会  
30~11月5日 15周年記念職員作品展  
31日 15周年記念式典、祝賀会、富山大学15年史発行  
〃 15周年記念フォークダンスの会(市体育館)  
〃 全学学生競技大会(マラソン大会ほか)

### 文 理 学 部

- 10月1~3日 日本金属学会秋期大会  
9日 教授会  
12日 北陸医学会総会  
17日 英文学・英語学談話会  
21日 人事教授会

### 教 育 学 部

- 10月2日 教務・補導合同委員会  
〃 教授会  
3日 附属学校運動会

- 6日 専門課程移行者に対するオリエンテーション
- 7日 後学期授業開始
- 16日 補導委員会
- 20日 選考委員会
- 21日 教務・補導合同委員会, 教務委員会
- 〃 教授会
- 26日 人事教授会
- 27日 学部図書委員会

**経済学部**

- 10月3・4日 学部職員レクリエーション(山代温泉)
- 7日 専門課程移行者に対するオリエンテーション
- 〃 教務委員会
- 8日 後学期授業開始
- 〃 人事教授会
- 〃 教授会(第11回)
- 12日 教務委員会
- 〃 教授会(第12回)
- 29日 教授会(第13回)
- 〃 人事教授会
- 〃 教官選考委員会
- 〃 教務委員会

**薬学部**

- 10月1日 教授会
- 5日 大学学術局村上研究助成課長来学
- 〃 前学期末試験(13日まで)
- 7日 大阪大薬学部中野庶務掛長他2名来学
- 14日 教授会
- 15日 谷川千葉大学長来学
- 〃 徳島大伊東薬学部長来学
- 〃 専門課程移行学生オリエンテーション
- 19日 大学院薬学研究科委員会
- 24~25日 学部職員レクリエーション(山中温泉)

**工学部**

- 10月5日 大学学術局村上研究助成課長等来学
- 14日 一般教授会
- 15日 専門課程移行学生オリエンテーション

**附属図書館**

- 9月12~13日 職員レクリエーション(下呂温泉)
- 18日 図書館商議会(第4回)
- 24日 15年史編さん執筆委員会
- 17・21・26・28日 15年史編さん小委員会
- 30日 図書館事務初任者講習会(県立図書館)
- 10月7・14・28日 〃 (〃)
- 12・13日 国立大学附属図書館研究集会(九州大学)

- 14日 全国国立大学図書館長会議(〃)
- 24日 15年史編さん小委員会

**経営短期大学部**

- 10月1日 後学期授業開始
- 3日 経済, 短大合同レクリエーション(山代一泊)
- 21日 教官会議
- 29日 経済, 短大合同委員会

昭和39年11月20日

印刷所 安倍印刷KK